

資料 2

パブリックコメント「習志野市基本構想（案）」 頂いた意見の概要

No.	頁	見出し	意見要約
1	全体		・ 習志野市の都市課題を明確にすべきです。 ・ 「都市課題を的確に把握することが重要だ」という考えに沿って基本構想を策定しない理由を説明して下さい。 ・ 何故、別項を設けて「都市課題」を明確にしないのか、その理由を説明して下さい。 ・ 「都市課題」を基本構想(案)では割愛した行政の理由と意図は全く分かりません。割愛した理由と意図を説明してください。 ・ 「都市課題」を明確にせず、キャッチフレーズ、「3つの目標」と「重点プロジェクト」がどのような経緯と意図をもって決定されたのか説明して下さい。 ・ 「やさしさ」を必要とする「都市課題」がどのようなものか、もっと具体的に説明して下さい。 ・ どのような「都市課題」を考えて、「3つの目標」を決定したのか説明して下さい。 ・ 「都市課題」を明確にした上で、文章内に「自立的都市経営」の必要性和重要性を強調すべきです。
2	全体		課題の共有の必要性和提案した課題について、行政の見解を問います。 ①「厳しい財政状況と公共施設の再生」・・・「自立的都市経営の推進」を含む ②「都市型災害の危機管理体制の充実」 ③「豊かな人間性を育む人づくり」 ④「高度情報化社会への対応」 ⑤「価値観の多様化と少子・高齢化社会への対応」 ⑥「地球規模での環境対応と資源循環型社会の構築」 ⑦「地域経済と地域活動の活性化」 ⑧「人口減少への対応の検討」
3	全体		財政問題を長期構想の中心課題に置くべき。その上に習志野市のビジョンは構築されなくてはならないと考える。
4	3	I 将来都市像	将来都市像に全く異論はない。しかし、習志野市をどのようなまちにしたいのか、そのつながりに関する説明が不十分に感じる。
5	3	I 将来都市像	「一貫して住民福祉の向上を目指してきました。」とあるが、今後もそれを目指しますと明記すべき。
6	5	Ⅱ-1 人口指標に対する考え方	少子高齢化からくる様々な困難に市民は遭遇している。それに明確に応える内容でなければ説得力のある基本構想とは言えない。

No.	頁	見出し	意見要約
7	9	Ⅲ-1 第 1 章第 2 節 地域経済・産業の振興	財政的視点から、産業分析と将来の可能性に関する調査を行うべき。基本構想策定に間に合わなくても、その必要性の指摘と分析による具体的施策の展開に関する構想を明記して欲しい。
8	9	Ⅲ-1 第 1 章第 2 節 地域経済・産業の振興	b. 購買意欲の向上を図るため、身近で便利な商店街づくり とあるが、この表現は誤解を招くので、控えた方が良いと考える。
9	15	Ⅲ-2 自立的都市経営 の推進	タイトルは「Ⅲ-2 重点プロジェクト」で良いのではないかな。
10	15	Ⅲ-2 自立的都市経営 の推進	世界の政治経済の動向を見据えることなしには、習志野市の課題も解決できないことを認識する必要があります。
11	15	Ⅲ-2 自立的都市経営 の推進	3 つ手段が重点プロジェクトとして選択され、決定された理由と経緯を分かり易く説明して下さい。
12	17	重点プロジェクト2	「2. 財政健全化」を重要プロジェクトの一つとした理由と経緯を説明して下さい。
13	17	重点プロジェクト2	財政の「健全な状態」と現在の財政上の問題点、及び「持続可能な財政運営」とはどのような運営状態なのか、具体的に説明して下さい。
14	17	重点プロジェクト2	「2.行財政改革の更なる推進による財政健全化」としてはどうか。
15	17	重点プロジェクト2	慎重の上にも慎重に財政運営をしなければならないと考えます。
16	17	重点プロジェクト2	基本構想の策定は、財政の視点からすべてを検討すべきであると考えます。
17		その他	基本構想の前期 6 年間は、複数の計画案を慎重に進めるべき。緊急性を有するもの以外は控えるべきと考えます。
18		その他	まちづくり基本構想及び公共事業再生計画は明確な理念のもと構想されるべきである。それは、市民参加型都市を目指す市民交流理念の構想である。
19		その他	都市計画道路が整備され、都市軸が完成し、ハミングロードの整備も見込まれる。それによって、この町の特徴である台地と低地の接点が市庁舎広場となり、全市民の中心施設を配置、市民交流の中心核、シビックセンター構想が描けるのである。
20		その他	サイクリングロードを併設したハミングロード都市軸をコミュニティバスが走り、京成線も並走する。この恵まれた地勢を活かし、14 コミュニティが交流する、コンパクトシティ習志野を形成するのである。

No.	頁	見出し	意見要約
21		その他	市民活動の基礎単位は町会であり、地域のたまり場の整備が基本である。
22		その他	まちづくり会議は住民主導とし、町会員が選出する男女 2 人が地区代表としてこの会議を仕切り、地区代表市議会議員も務める。14 コミュニティ代表が構成する、市民委員会型市議会が確かな住民自治参加を目指す。
23		その他	小学校舎をスケルトンインフィル方式で改修。その一角を地域住民寄り合いの場とする。
24		その他	小中学校の学芸会、演奏会、各校から選ばれた作品などもシビックセンターで公開する。市民交流の象徴的な場となる。
25		その他	公民館の企画・運営も地区住民に任せる。各種同好会、地域が推す人々で委員会を創り、その公民館の企画・運営を委託する。
26		その他	高齢者対策で最も重要なことは孤立させないことである。「住み慣れた処で自分らしく老いる」この理念が全ての町会員に感じられるやさしさのこもったコミュニティを目指したい。
27		その他	地域支援ボランティアの活動を促進・継続するためには、家事、草刈り、買い物など参加し頼みやすい「支援地域券」を発行する。
28		その他	「市民カレッジ OB」のつながりは貴重、継続すべきである。また、「シルバー人材センター」の積極的参加を図るべきである。
29		その他	各市街化調整区域の都市計画決定を急ぎ、乱開発を防ぎ、将来都市像を確定する。
30		その他	袖ヶ浦 UR 団地若返り改造策を共同提案すれば、一気に実施されるはずである。周辺商店街の活性化にとって急務である。地域商店街周辺の立体化による若返りと活性化。
31		その他	谷津インターチェンジ完成による JR 津田沼駅周辺直結効果及び茜浜・芝園地域の立地強化策。

以下は、パブリックコメントの対象ではありませんが、序論案に対する意見です。

序論 5	I-2 長期計画の 3つの指針	「1. 市民とともに進めるまちづくりの指針」のなかに、「情報公開の 更なる拡充」についての記述を追加するべきです。
序論 5	I-2 長期計画の 3つの指針	「2. 安全・安心なまちづくりの指針」のなかに、「防犯」や「公共施設 の耐震化及び老朽化対策」、更には、「ICT 技術の進展に伴う情報 セキュリティ」についても記述するべきです。
序論 14	II-3 財政概況	「人件費(職員給与等)」の単独評価ではなく、「人件費+物件費」で 削減効果を評価するべきです。「人件費+物件費の推移」について、 行政はどのような評価をしますか。そして、課題は何だと考えます か。
序論 15	II-3 財政概況	「公共施設再生計画」の財源確保ための財政課題についての方針 と対応をもっと明確にすべきです。
序論 16	II-3 財政概況	何故、財政予測ができなかったのか、その理由の詳細な説明を求 めます。
序論 17	III 市民意識と 市民提案	「1)住みよさと定住意向について」の設問を記載した意図は何です か。また、設問「問 2-1」の結果を、どの様に評価しますか。 (住みよいと感じる理由のこと。一番は交通が便利である 68.5%と なっている。)
序論 17	III 市民意識と 市民提案	キャッチフレーズを選定する際に、意識調査結果はどの様に活用し たのですか。
序論 17	III 市民意識と 市民提案	4つの設問以外の項目の意識調査結果を、基本構想(案)の策定に どの様に活用しましたか。